

要チェック!

高校入試の種類

私立高校入試

推薦入試

私立一般入試・公立高校入試よりも先に行われる。中学校に指定校推薦枠がある。受けられれば合格できる。ただし、原則、合格を辞退できない。中学校から推薦をうけるための**内申点**が必要。書類審査・学力テスト・面接等がある。

一般入試

公立高校入試よりも先に行われる。日程が重ならないければ、3校受けることが可能。当日の**テストの得点**(3教科・5教科)で合否を決める。合格したあとに、公立高校を受けることができる。

私立入試合格のポイント

- ・推薦入試は、3年生2学期の内申点を確保すること!
- ・一般入試は、当日のテストの得点をとれるようにすること!

公立高校入試

推薦入試

公立高校入試は、推薦・一般の両方の選抜を同じ日に行う。第一志望校一校のみ出願できる。中学校からの推薦を受けるための**内申点**が必要。書類審査と面接がある。推薦入試で合格できなかった場合、一般入試での選抜の対象となる。

一般入試

A・Bの各グループから、第一志望と第二志望の2校を受けることができる。当日の**テストの得点**(5教科110点満点)+**内申点**(9教科45点満点)で合否を決める。

公立入試合格のポイント

- ・推薦入試では、3年生の内申点に加えて、中2の成績も参考資料になる。中2でも気を抜かないこと!
- ・一般入試は、当日のテストの得点プラス中3の3学期の内申点で選抜される。内申点をしっかりと確保し、実力をつけること!

次回は、公立高校の出願パターンと、合否の決定のしくみについてお伝えします!

これが出た! ①期末テスト過去問紹介!

中3 数学(平針中)

(2) $\sqrt{69}$ の小数部分を式で答えなさい。

<解答> (2) $\sqrt{69}$ の小数部分を式で答えなさい。
 $\sqrt{64} < \sqrt{69} < \sqrt{81}$ よって、 $\sqrt{69} = 8. \dots$
だから、 $\sqrt{69}$ の小数部分は、 $\sqrt{69} - 8$ と表す。

中2 数学(久方中)

(4) 連立方程式 $\begin{cases} ax+y=b \\ 2ax+by=7 \end{cases}$ の解が、 $(x, y)=(2, -1)$ であった。このとき、 a, b の値を求めなさい。

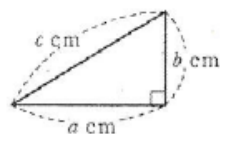
<解答> $(x, y)=(2, -1)$ を代入 $a=3$ を①に代入
 $\begin{cases} 2a-1=b & \dots \text{①} \\ 4a-b=7 & \dots \text{②} \end{cases}$ $2 \times 3 - b = 1$
 $-b = -5$
①から $2a-b=1 \dots \text{①}'$ $b=5$
①'-② $2a=6$ $a=3, b=5$

中1 数学(原中)

5 次の問いに答えなさい。

(1) 右の直角三角形で、次の式はどのような数量を表しているか答えなさい。(単位は省略します。)

① $a+b+c$



<解答>
直角三角形の周の長さ

<コメント> 中3は平方根、中2は連立方程式、中1は文字式がテスト範囲に入ってきます! フォレスタ・ワークなどのテキストにも似た問題がありましたね! 「同じ問題なら100%解ける!」と自信がつくまで、繰り返し解きましょう! 「できる」のレベルをあげよう!

《高い内申点(評定)をとるために》

定期試験の得点はもちろんしっかりと確保しなければいけません。これがとにかく一番です。それに加えて、以下の3つのポイントもとても重要です。

1. 学校の授業ノートはしっかりと取る! 丁寧に記入をする。先生が見るので、この点は特に注意。
2. 授業態度は常に積極的にする。姿勢の正しさと目線、ノートを取る姿勢や発言。
3. 提出物も高得点を目指す。

力を入れる順番(ベスト6)

1. 定期試験
2. 提出物の期限を守る
3. 提出物の作成
4. ノートを丁寧に取る
5. 授業をしっかりと聴く
6. 授業中はまじめに取り組む